



電話ガイド



Cisco Unified IP Phone 7940G/7960G 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.0 (SCCP)

(ライセンスおよび保証規定を含む)

Text Part Number: OL-8133-01-J



一般的な電話機の作業

電話機でオンラインヘルプを表示する	 または  をすばやく2回押します。
コールを発信する	オフフックにしてからダイヤルするか、ダイヤルしてからオフフックにします。
リダイヤルする	[リダイヤル] を押します。
コール中にスピーカまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を選択して履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	[ヘンシュウ] 、<< または >> を押します。
コールの保留と復帰	[ホリユウ] または [フッキ] を押します。
別の番号にコールを転送する	[テンソウ] を押し、転送先の電話番号を入力してから、 [テンソウ] をもう一度押します。
標準の会議コールを開催する	[ツギへ] > [カイギ] を押します。番号をダイヤルしてから、 [カイギ] をもう一度押します。上の手順を各通話者に繰り返します。



Cisco、Cisco IOS、Cisco Systems、および Cisco Systems のロゴは、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0501R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

OL-8133-01-J



Cisco Unified IP Phone 7940G/7960G 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.0 (SCCP)

ソフトキーの機能
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
一般的な電話機の作業

ソフトキーの機能

タンシュク	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
オウトウ	コールに応答する
ワリコミ	共有回線のコールに参加する
オリカエシ	話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
C ワリコミ	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
フザイ	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
サンカシャ	会議の参加者を表示する
カイギ	会議コールを作成する
サクジヨ	編集機能を使用しているときに、カーソルの位置にある文字を削除する
ダイヤル	電話番号をダイヤルする
D テンソウ	2 つのコールを相互に転送する
ヘンシュウ	履歴の電話番号を編集する
シュウリョウ	現在のコールを切断する
シュウリョウ	前の画面に戻る
G ピック	他のグループで鳴っているコールに応答する
ソクテンソウ	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
サンカ	すでに 1 つの回線上にある複数のコールをまとめて、1 つの会議コールを作成する
ミートミー	Meet-Me 会議コールを開催する
ツギへ	その他のソフトキーを表示する

ハッシン	新しいコールを発信する
ソノタ Grp	自分のグループに関連付けられているグループ内で鳴っているコールに応答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピック	自分のグループで鳴っているコールに応答する
ヒンシツ	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
サクジョ	会議の参加者を削除する
フッキ	保留されたコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
ホソン	選択した設定を保存する
ケンサク	ディレクトリのリストを検索する
センタク	画面上で項目を選択する
テンソウ	コールを転送する
コウシン	内容を更新する
ビデオ	ビデオ表示モードを選択する
<<	カーソルの左側にある文字を削除する
>>	入力した文字の上を移動する

電話スクリーンのアイコン

コールの状態	
	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	着信コール
	オフフック回線
	発信コール
	使用中の共有回線

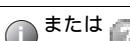
安全なコール	
	認証されたコール
	暗号化されたコール

重要なコール	
	プライオリティ コール
	プライオリティのやや高いコール
	プライオリティの高いコール
	プライオリティの最も高いコール

選択されたデバイス	
	使用中のハンドセット
	使用中のヘッドセット

	使用中のスピーカフォン
その他の機能	
	短縮ダイヤル回線使用中
	短縮ダイヤル回線アイドル状態
	短縮ダイヤル（回線ステータス不明）
	メッセージ受信
	ビデオが有効
	選択されたオプション
	機能が有効

ボタン アイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	スピーカ
	ミュート
	ヘッドセット

Contents

はじめに 1

このガイドの使用方法 1

その他の情報の入手先 2

Cisco Unified IP Phone 7960G および 7940G eLearning チュートリアルへのアクセス 2

安全およびパフォーマンスにおける情報 3

アクセシビリティ機能 5

電話機の接続 6

電話機の概要 9

ボタンとハードウェアについて 10

電話スクリーンの機能について 13

電話スクリーンのクリーニング 13

機能ボタンとメニューについて 14

電話機のヘルプシステムについて 14

回線とコールの違いについて 15

回線とコールのアイコンについて 15

機能の Availability について 16

基本的なコール処理 17

コールの発信：基本オプション 17

コールの発信：追加のオプション 18

コールへの応答 20

コールの終了 21

コールの保留と復帰 21

ミュートの使用 22

複数のコールの切り替え	22
複数のコールの表示	23
コールの転送	24
すべてのコールの別の電話番号への転送	26
会議コールの使用方法	27
会議コールのタイプについて	27
標準の会議の開催と参加	28
Meet-Me 会議コールの開催または参加	30
応用的なコール処理	31
短縮ダイヤル	31
自分の電話機で他の電話機の着信に応答する	33
共有回線の使用	35
共有回線について	35
共有回線のコールへの参加	36
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	37
パークされているコールの保存と取得	38
安全なコールの送受信	39
不審なコールのトレース	40
重要なコールの優先順位付け	41
Cisco エクステンション モビリティの使用	42
BLF を使用した回線状態の判断	43
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	44
ヘッドセットの購入	45
自動応答の使用	45
電話設定の使用	46
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	46
電話スクリーンのカスタマイズ	47

履歴およびディレクトリの使用	48
履歴の使用	48
ディレクトリからのダイヤル	50
電話機での社内ディレクトリの使用	51
電話機での個人ディレクトリの使用	52
ボイス メッセージへのアクセス	55
Web での電話機のカスタマイズ	56
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	57
Web での機能およびサービスの設定	58
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	58
Web での個人アドレス帳の使用方法	58
Web でのファースト ダイヤルの設定	59
アドレス帳同期化ツールの使用方法	60
Web での短縮ダイヤルの設定	61
Web での電話機サービスの設定	62
Web でのユーザ設定の制御	64
Web での回線設定の制御	65
Cisco WebDialer の使用	67
その他の設定オプションについて	69
電話機のトラブルシューティング	71
一般的なトラブルシューティング	71
電話管理データの表示	72
Quality Reporting Tool の使用方法	72
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	73
索引	



はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作または状態の説明
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、 ① または ② を押してください。
安全情報を参照する	P.3 の「安全およびパフォーマンスにおける情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.6 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.9 の「電話機の概要」を参照してください。
電話機のボタンについて調べる	P.10 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	P.13 の「電話スクリーンの機能について」を参照してください。
コールを発信する	P.17 の「コールの発信：基本オプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.21 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.22 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.24 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.27 の「会議コールの使用法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.31 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.35 の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.44 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法」を参照してください。
呼出音の音量やトーンを変更する	P.46 の「電話設定の使用」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.48 の「履歴の使用」を参照してください。
ボイスメッセージを聞く	P.55 の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの機能を調べる	このガイドの冒頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

その他の情報の入手先

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Cisco Unified IP Phone 7960G および 7940G eLearning チュートリアルへのアクセス

Cisco Unified IP Phone 7960G および 7940G eLearning チュートリアルは、オーディオとアニメーションを使用して、基本的なコール機能を示します。一部の電話機モデルの eLearning チュートリアルには、ご使用のパーソナル コンピュータからオンラインでアクセスできます。次の URL にあるドキュメントリストで、ご使用の電話機モデルの eLearning チュートリアル（英語のみ）を参照してください。

http://cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

安全およびパフォーマンスにおける情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco Unified IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。



警告

雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



警告

感電事故を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートは、いずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。

**注意**

インライン電源の回路では、通信ケーブルを介して電流が供給されます。シスコが提供するケーブル、または 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco Unified IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。

**警告**

この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。

**警告**

この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。

**警告**

プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。

**警告**

電源装置は屋内に設置する必要があります。

**注意**

この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービス ダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システム パフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。



注意

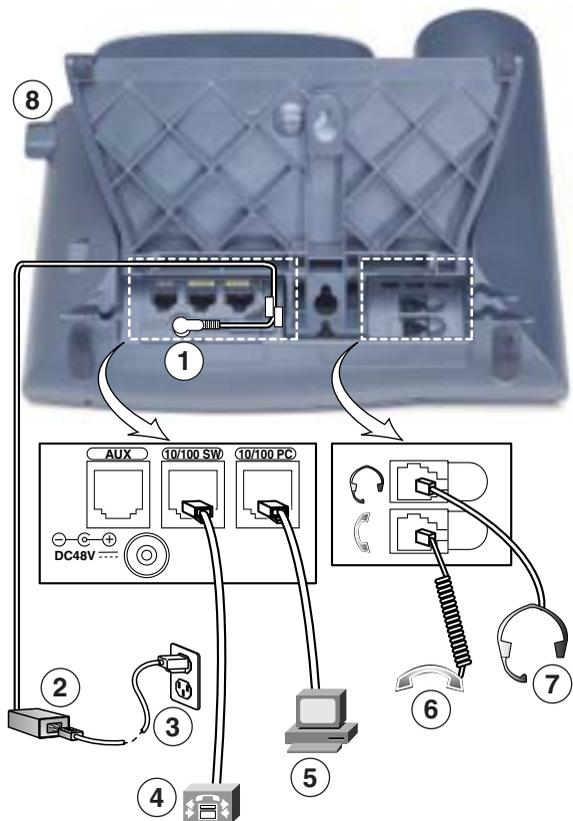
欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



113656

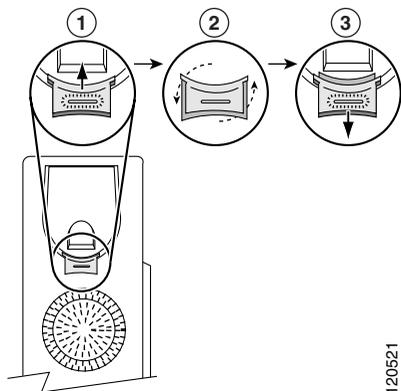
1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC)
2	AC-DC 電源装置	6	ハンドセット ポート
3	AC 電源コード	7	ヘッドセット ポート
4	ネットワーク ポート (10/100 SW)	8	フットスタンド ボタン

フットスタンドの調節

電話機本体の角度を変更するには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

ハンドセット受け台の調節

電話機を壁に取り付ける場合は特に、ハンドセットの受け台を調整することをお勧めします。受け台の調整により、ハンドセットが受け台から滑り落ちにくくなります。次の表に手順を示します。



120521

1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセットポートに差し込みます。

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を1つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、P.5 の「外部デバイスの使用」を参照してください。

一部のヘッドセットが Cisco Unified IP Phone での使用に適さないとされる主な理由は、ハム雑音が入る可能性があるということです。このハム雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ローカル電源キューブを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を軽減または解消することができます。詳細については、P.4 の「外付け電源装置の使用」を参照してください。

音質に関するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音の品質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットやハンドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットやハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

しかし、使用する環境でこれらの装置をテストし、適切なパフォーマンスが得られるかどうかを判断するのは、最終的にお客様ご自身の責任になります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com>

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7960G および 7940G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用して、コールの発信および受信、コールの保留、短縮ダイヤル番号、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。設定に応じて、この電話機は次の機能をサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページを使用した、オンラインによる電話機の機能とサービスのカスタマイズ
- 電話スクリーンに情報を表示するオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを図1と図2に示します。

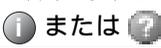
図1 Cisco Unified IP Phone 7960G



図2 Cisco Unified IP Phone 7940G



項目	説明	参照先または問い合わせ先	
1	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイスメッセージがあることを示します。	P.55の「ボイスメッセージへのアクセス」
2	電話スクリーン	電話機の機能を表示します。	P.13の「電話スクリーンの機能について」
3	モデルタイプ	Cisco Unified IP Phone のモデルを示します。	P.15の「回線とコールの違いについて」
4	プログラマブルボタン	設定に応じて、プログラマブルボタンからは次にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> 電話回線（回線ボタン） 短縮ダイヤル番号(短縮ダイヤルボタン、BLF短縮ダイヤル機能を含む) Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど） 電話機の機能(プライバシーボタンなど) 	P.13の「電話スクリーンの機能について」
5	フットスタンドボタン	電話機本体の角度を調節します。	P.7の「フットスタンドの調節」

6	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。履歴およびディレクトリにアクセスするために使用します。	P.48の「履歴の使用」
7	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ]メニューをアクティブにします。	P.14の「電話機のヘルプシステムについて」
8	設定ボタン 	[セッテイ]メニューを開閉します。電話スクリーンおよび呼出音の設定を変更するために使用します。	P.46の「電話設定の使用」
9	スピーカ ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	P.44の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
10	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン/オフを切り替えます。ミュート機能がオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	P.22の「ミュートの使用」
11	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。	P.44の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
12	音量ボタン 	音量およびその他の設定を制御します。	P.46の「電話設定の使用」
13	サービス ボタン 	[サービス]メニューを開閉します。	P.56の「Webでの電話機のカスタマイズ」
14	メッセージ ボタン 	サービスによって異なりますが、ボイスメッセージサービスに自動ダイヤルします。	P.55の「ボイスメッセージへのアクセス」
15	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールに使用します。	P.48の「履歴の使用」
16	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	P.17の「基本的なコール処理」
17	ソフトキー ボタン 	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	P.13の「電話スクリーンの機能について」

電話スクリーンの機能について

次の図は、1つのアクティブなコールと複数の機能メニューが開いているメインの電話スクリーンの外観を示しています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（内線番号）を表示します。
2	プログラマブルボタンインジケータ	プログラマブルボタンには、電話回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話機サービスボタン、また電話機能ボタンとしての働きもあります。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコンリファレンスについては、このガイドの冒頭にあるクイックリファレンスカードの「電話スクリーンのアイコン」の項を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーをアクティブにするには、ソフトキーボタンを押します。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コールアクティビティ領域	発信者ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとにコールを表示します。P.15の「回線とコールの違いについて」およびP.23の「複数のコールの表示」を参照してください。

電話スクリーンのクリーニング

電話スクリーンは、柔らかく乾いた布で軽く拭きます。電話機に液体や粉がかからないようにしてください。柔らかく乾いた布以外で拭くと、電話機の部品が汚れたり、故障したりする可能性があります。

機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押すと、機能メニューが開閉します。

目的	必要な操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  または  ヘルプ  ディレクトリ  設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	[シュウリョウ] を押します。メニューの最上位レベルで [シュウリョウ] を押すと、メニューが閉じます。

電話機のヘルプシステムについて

電話機には、オンライン ヘルプシステムが備わっています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	必要な操作または状態の説明
メイン メニューを表示する	電話機の  または  を押し、メニューが表示されるまで数秒間待ちます。
ボタンやソフトキーを確認する	 または  を押してから、すぐにボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 または  を押し、すばやく電話スクリーンのメニュー項目を選択します。あるいは、メニュー項目を強調表示して  または  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 または  をすばやく 2 回押します (最初にメニュー項目を選択しません)。

回線とコールの違いについて

ここでは、回線とコールの混同を避けるため、この2つの違いを説明します。

- 回線：電話をかける際に使用する電話番号に対応します。Cisco Unified IP Phone 7960G は最大 6 本、Cisco Unified IP Phone 7940G は最大 2 本の回線をサポートします。電話機に割り当てられた回線の数、電話スクリーンの回線領域で確認します。電話機の回線数は、割り当てられたディレクトリ番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール：1 回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、1 本の回線が 4 つのコールの接続をサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

電話機には、回線とコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	コールの状態	説明
	オンフック回線	この回線には、コール アクティビティがありません。
	オフフック回線	番号をダイヤルしているか、発信コールの呼出音が鳴っています。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.21 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用中心	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。P.35 の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	認証されたコール	P.39 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.39 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	アイドル回線 (BLF)	P.43 の「 BLF を使用した回線状態の判断 」を参照してください。
	ビジー回線 (BLF)	P.43 の「 BLF を使用した回線状態の判断 」を参照してください。

機能のオペラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のオペラビリティの詳細については、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

基本的なコール処理

基本的なコール処理は、さまざまな機能とサービスを使用して行うことができます。機能のオペラビリティは異なることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本オプション

Cisco Unified IP Phone には、次のように、簡単にコールを発信する方法がいくつか用意されています。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用して発信する	ハンドセットを取り上げて番号をダイヤルします。	P.9 の「電話機の概要」
スピーカフォンを使用して発信する	 を押し、電話番号を入力します。	P.44 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
ヘッドセットを使用して発信する	 を押し、電話番号を入力します。または  が点灯している場合は、[ハッシン] を押して電話番号を入力します。	P.44 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
リダイヤルする	[リダイヤル] を押し、最後に発信した番号がダイヤルされます。	P.48 の「履歴の使用」
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（同じ回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> [ホリユウ] を押します。 [ハッシン] を押します。 電話番号を入力します。 	P.21 の「コールの保留と復帰」
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  > [フザイリレキ]、[チャクシンリレキ]、または [ハッシンリレキ] を選択します。 リストを選択するか、リストまでスクロールしてオフフックにします。 	P.48 の「履歴の使用」

ヒント

ダイヤルの途中で電話番号を間違えて入力した場合は、<< を押して番号を消去します。

コールの発信：追加のオプション

電話機に特別な機能やサービスが用意されていれば、それらを使用してコールを発信することができます。このような追加のオプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（別の回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい回線で  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 2. 電話番号を入力します。 	P.21 の「 コールの保留と復帰 」
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • （短縮ダイヤル ボタン）を押します。 • 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 • ファースト ダイヤル機能を使用します。 	P.31 の「 短縮ダイヤル 」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [シャナイディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。 2. 名前を入力して、[ケンサク]を押します。 3. リスト項目を選択するか、リスト項目にスクロールして、オフフックにします。 	P.48 の「 履歴の使用 」
Cisco WebDialer を使用して、コンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	P.67 の「 Cisco WebDialer の使用 」
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [オリカエシ] を押します。 2. 切断します。回線が利用できるようになると、電話機に通知されます。 3. もう一度コールを発信します。 	システム管理者

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線にコールを発信する前に、短縮ダイヤルに関連付けられた回線が使用中かどうかを確認する	ビジーランプフィールドインジケータを確認します。	P.43の「BLFを使用した回線状態の判断」
プライオリティ (Precedence) コールをかける	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	P.41の「重要なコールの優先順位付け」
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 2. [コジンアドレスチョウ] を選択してリストを検索します。 	P.52の「電話機での個人ディレクトリの使用」
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号をダイヤルします。 2. トーンが聞こえたら、ユーザ固有のコードである Client Matter Code (CMC) または認証に必要な Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機からエクステンション モビリティ サービスにログインします。	P.42の「Cisco エクステンション モビリティの使用」

コールへの応答

コールに応答するには、単純にハンドセットを取り上げるか、電話機に他にオプションが用意されていれば、それらを使用します。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は押します。または、  が点灯している場合は、[オウトウ]または  を押します。	P.44の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
スピーカフォンで応答する	 、[オウトウ] または  を押します。	P.44の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[オウトウ]を押すか、コールが別の回線で鳴っている場合は、該当する回線の  を押します。	P.21の「コールの保留と復帰」
コール ウェイティングを使用して応答する	[オウトウ]を押します。	P.21の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムに直接コールを送信する	[ソクテンソウ]を押します。	P.55の「ボイス メッセージへのアクセス」
コールを自動接続する	自動応答を使用します。	P.45の「自動応答の使用」
パークされたコールを別の電話で取得する	コールパークを使用します。	P.38の「パークされているコールの保存と取得」
自分の電話機を使用して別の場所で鳴っているコールに応答する	コールピックアップを使用します。	P.33の「自分の電話機で他の電話機の着信に応答する」
プライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断して [オウトウ] を押します。	P.41の「重要なコールの優先順位付け」

コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [シュウリョウ] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。または、ヘッドセット モードをアクティブにしておくには、[シュウリョウ] を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [シュウリョウ] を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[シュウリョウ] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールは、保留したり復帰したりすることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。 [ホリユウ] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 保留を解除するコールが強調表示されていることを確認します。 [フッキ] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<p>対象の回線で  を押します。</p> <p>この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合、復帰するコールまでスクロールし、[フッキ] を押します。</p>

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールには、コールの保留を示すアイコン  が表示されています。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュートは、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットで使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ミュートをオンにする	 を押します。
ミュートをオフにする	 を押します。

複数のコールの切り替え

1 本または複数の回線上で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーション ボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線上で接続されている複数のコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。[フッキ] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択されたコールが復帰します。
異なる回線上で接続されているコールを切り替える	切り替え先のコールがある回線で  を押します この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合、該当するコールを強調表示し、[フッキ] を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[アウトウ] を押すか、コールが別の回線で鳴っている場合は、切り替え先の回線の  を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択されたコールが復帰します。

複数のコールの表示

電話機に複数のコールがどのように表示されるかを理解することは、コール処理タスクを整理するのに役立ちます。

標準の表示モードでは、強調表示された回線のコールが電話機に次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、まとめて表示されます。たとえば、通話しているコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾付近にまとめて表示されます。

その他に、次の方法を使用して複数の回線の複数のコールを表示することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<p> または  を押します。</p> <p>すぐに回線ボタン  を押します。</p>
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示されている回線で  を押します</p> <p>電話機がコール概要モードに切り替えられ、回線ごとに1つのコールのみが表示されます。表示されるコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。</p> <p>標準の表示モードに戻るには、 または  を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールから、[テンソウ] を押します。2. 転送先の電話番号を入力します。3. [テンソウ] をもう一度押して転送を完了するか、[シュウリョウ] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールから、[テンソウ] を押します。2. 転送先の電話番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [テンソウ] をもう一度押して転送を完了するか、[シュウリョウ] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送）	<ol style="list-style-type: none">1. その回線上の任意のコールをスクロールして強調表示します。2. [センタク] を押します3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で [D テンソウ] を押します（必要に応じて、[D テンソウ] を表示するために [ツギヘ] を押します）。 2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [サンカ] を使用します。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[ソクテンソウ]を押します。コールがボイス メッセージ グリーティングに自動転送されます。[ソクテンソウ]は、アクティブなコール、呼び出し中のコール、保留中のコールに使用できます。

ヒント

- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、または[テンソウ]を押してから切断することができます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、[テンソウ]を押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- [テンソウ]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[フッキ]を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

すべてのコールの別の電話番号への転送

[フザイ]を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線のコール転送を設定する	[フザイ]を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[フザイ]を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次を確認します。 <ul style="list-style-type: none">プライマリ電話番号の上のコール転送アイコン ステータス行のコール転送の転送先番号
プライマリ回線以外の回線で、コール転送をリモートにセットアップまたはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします (P.57 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。コール転送設定にアクセスします (P.65 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替として、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます (ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります)。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更することができます。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、3 名以上を 1 台の電話機の会話に参加させ、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の会議と Meet-Me 会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

標準の会議コールは、必要性や電話機で利用できるソフトキーに応じて、次のように複数の方法で作成できます。

- **[カイギ]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[サンカ]**: このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールを結合して標準の会議コールを開催するときに使用します。
- **[Cワリコミ]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ利用できます。

手順の詳細については、[P.28 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。

Meet-Me 会議コール

Meet-Me 会議コールは、指定された時刻に Meet-Me 電話番号に発信して作成します。

手順の詳細については、[P.30 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の会議では、1つのコールに3名以上の参加者が1つのコールで会話できます。

目的	必要な操作または状態の説明
<ul style="list-style-type: none"> 参加者に発信して会議コールを作成する 複数の会議コールに新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 接続されたコールで、[カイギ]を押します(必要に応じて、[カイギ]を表示するために[ツギへ]ソフトキーを押します)。 参加者の電話番号を入力します。 コールが接続されるのを待ちます。 [カイギ]をもう一度押して、参加者をコールに追加します。 この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
複数の既存のコールを参加させて、会議コールを作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1本の回線に複数のコールがあることを確認します。 会議コールに追加するコールを強調表示します。 [センタク]を押します 選択されたコールがこのアイコン <input checked="" type="checkbox"/> を表示します。 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 選択したコールのいずれかで、[サンカ]を押します(必要に応じて、[サンカ]を表示するために[ツギへ]ソフトキーを押します)。 <p> (注) アクティブなコールが自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線でコールに割り込んで、会議コールを作成する	共有回線でコールを強調表示し、[Cワリコミ]を押します(必要に応じて、[Cワリコミ]を表示するために[ツギへ]ソフトキーを押します)。 P.35の「共有回線の使用」を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> アクティブな会議を強調表示します。 [サンカシャ]を押します 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[コウシン]を押します。

目的	必要な操作または状態の説明
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議の任意の参加者を削除する	1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [サクジョ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または [シュウリョウ] を押します。

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを1本の同じ回線に転送してから [**カイギ**] または [**サンカ**] を押します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開催した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号をダイヤルして、会議を開催または会議に参加します。

目的	必要な操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。2. 取得した番号を参加者に通知します。3. 会議を開催する準備ができれば、オフフックにしてダイヤルトーンを確認し、[ミートミー]を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 参加者は、ダイヤルインで会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度発信し直す必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>Meet-Me 会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。</p> <p> (注) 開催者がダイヤルインする前に、会議にコールした場合、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルでは、インデックス番号を入力する、ボタンを押す、電話スクリーン項目を選択するの3つの方法のいずれかを使用してコールを発信することができます。電話機は設定に応じて、次のような複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル機能
- ファースト ダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤル ボタンおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、[ユーザ オプション Web ページ](#)にアクセスする必要があります。P.57 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
 - ファースト ダイヤルを設定するには、[個人ディレクトリ機能](#)にアクセスする必要があります。P.58 の「[Web でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
 - または、システム管理者が短縮ダイヤル機能を設定することもできます。
-

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 短縮ダイヤル ボタンを設定します。P.61 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 2. コールを発信するには、（短縮ダイヤル ボタン）を押します。 <p> (注) 電話機がビジー ランプ フィールド (BLF) 機能をサポートしている場合、ダイヤルする前に短縮ダイヤル番号が使用中かどうかを確認できます。P.43 の「BLF を使用した回線状態の判断」を参照してください。</p>
固定短縮ダイヤル機能を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 固定短縮ダイヤル コードを設定します。P.61 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[タンシユク] を押します。
ファースト ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人アドレス帳エントリを作成して、ファースト ダイヤル コードを割り当てます。P.58 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。 2. コールを発信するには、電話機のファースト ダイヤル サービスにアクセスします。P.52 の「電話機での個人ディレクトリの使用」を参照してください。

自分の電話機で他の電話機の着信に応答する

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。コールピックアップは、同僚とコール処理を共有している場合に使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
自分のコール ピックアップグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ピック]ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。 • [ピック]ソフトキーが表示されていない場合は、オフフックにして表示してから [ピック] を押します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。</p> 2. コールが鳴っている場合、[オウトウ] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [G ピック]ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。 • [G ピック]ソフトキーが表示されていない場合は、オフフックにして表示してから [G ピック] を押します。 • グループピックアップのコードを入力します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。</p> 2. コールが鳴っている場合、[オウトウ] を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられているグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ソノタ Grp]ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。 • [ソノタ Grp]ソフトキーが表示されていない場合は、オフフックにして表示してから [ソノタ Grp] を押します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。</p> 2. コールが鳴っている場合、[オウトウ] を押してコールに接続します。

ヒント

- [ピック]と[Gピック]を押すと、最も長くなり続けているコールに接続します。
- [ソノタ Grp]を押すと、プライオリティの最も高いピックアップグループ内のコールに接続します。
- 複数の回線があり、プライマリ回線以外の回線でコールに応答する場合は、まずピックアップする回線で  を押してからコールピックアップのソフトキーを押します。

共有回線の使用

次の場合に、システム管理者が共有回線を設定することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使用する場合
- 同僚とコール処理タスクを共有する場合
- マネージャに代わってコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、回線を共有している他の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線では通常どおりにコールの発信や受信を行うことができます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有している電話機には、共有回線上の発信コールや受信コールに関する情報が表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます。(例外については、[プライバシー](#)のセクションを参照)。

コールに関する情報がこのように表示されている場合、回線を共有しているユーザ同士は、[ワリコミ] または [C ワリコミ] を使用して、コールに参加することができます。P.36 の「[共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。P.37 の「[他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定に応じて、**割り込み**または**C 割り込み**のいずれかを使用して、コールに参加できます。

目的	必要な操作または状態の説明
共有回線が使用中かどうかを確認する	リモートで使用中のアイコン  を確認します。
[ワリコミ]ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none">リモートで使用中のコールを強調表示します。[ワリコミ]を押します(必要に応じて、[ワリコミ]を表示するために[ツギへ]ソフトキーを押します)。他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピープ音が鳴ります。
[Cワリコミ]ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none">リモートで使用中のコールを強調表示します。[Cワリコミ]を押します。(必要に応じて、[Cワリコミ]を表示するために[ツギへ]ソフトキーを押します)。他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話スクリーン上のコールに関する情報が変更されます。
割り込んだコールに新しい会議参加者を追加する	可能であれば、[Cワリコミ]を使用してコールに割り込みます。 割り込み機能とは異なり、C 割り込み機能を使用すると、コールが標準の会議コールに切り替えられ、新しい参加者を追加できるようになります。 P.27 の「 会議コールの使用方法 」を参照してください。
割り込んだコールから離脱する	切断します。 割り込み機能を使用した後にコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールは続行します。 C 割り込み機能を使用した後にコールを切断すると、3 名以上の参加者が回線に残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、回線を共有している他の電話機に、コールに関する情報と割り込みのソフトキーが表示されません。
- [ワリコミ]を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用して、回線を共有する他者が自分のコールを参照したり、コールに割り込んだり（参加したり）できないようにすることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ヒツウチ ] を押します。 2. プライバシー機能が有効であることを確認するには、回線ボタン  の横にプライバシー機能有効アイコン  が表示されていることを確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ヒツウチ ] を押します。 2. プライバシー機能が無効であることを確認するには、回線ボタン  の横にプライバシー機能無効アイコン  が表示されていることを確認します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線が割り当てられている場合にプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified CallManager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

目的	必要な操作または状態の説明
コール パークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に [パーク] を押します（必要に応じて、[パーク] を表示するために [ツギへ] ソフトキーを押します）。2. 電話機のスクリーンに表示されたコールのパーク番号を書き留めます。3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。



(注) パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールをサポートできます。

- 認証されたコール：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- 暗号化されたコール：電話機は、Cisco IP ネットワーク内で暗号化されたオーディオ（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- ノンセキュア コール：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機が検証できません。

目的	必要な操作または状態の説明
コールのセキュリティ レベルを確認する	<p>次のいずれかのセキュリティ アイコンが、通話時間タイマーの横にあるコール アクティビティ領域の右隅に表示されていることを確認します。</p> <p> 認証されたコール</p> <p> 暗号化されたコール</p> <p>コールがノンセキュアの場合は、どちらのセキュリティ アイコンも表示されません。</p>
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作または状態の説明
不審なコールや嫌がらせコールをシステム管理者に通知する	[メイワクコ]を押します。 トーンが鳴り、「メイワクコガセイコウシマシタ」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール ウェイティングのトーンが鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。
コールのプライオリティレベルを確認する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none">  プライオリティ コール  プライオリティのやや高い (即時) コール  プライオリティの高い (フラッシュ) コール  プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コールリストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティレベルは通常 (ルーチン) です。</p>
プライオリティのより高いコールを受け入れる	コールに通常どおり応答します。必要に応じて、アクティブなコールを先に終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコールウェイトのトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログオンすると、電話機に自分のユーザ プロファイル (電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など) が適用されます。システム管理者に、EM を自分用に設定してもらう必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1.  > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力します。3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1.  > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトの確認を求められたら、[Yes] を押します。

ヒント

- 一定の時間が経過すると、EM から自動的にログアウトされます。この制限時間は、システム管理者が設定します。
- ユーザ オプション Web ページから EM プロファイルに対して行った変更は、次回、電話機の EM にログインしたときに有効になります。
- 電話機だけで制御されている設定は、EM プロファイルには保存されません。

BLF を使用した回線状態の判断

設定に応じて、ビジー ランプ フィールド (BLF) 機能を使用して、電話機の短縮ダイヤル ボタンに関連付けられた電話回線の状態を判断できます。BLF のステータスに関係なく、この回線にコールを発信できます。この機能は、ダイヤル操作を妨げません。

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	回線番号の横の次のいずれかのインジケータを確認します。  回線は使用中です。  回線はアイドル状態です。  BLF インジケータは、この回線には使用できません。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機では、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットが使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。
ヘッドセットを使用する	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えるには、  を押します。自動応答を使用する場合は、P.45の「自動応答の使用」で例外を参照してください。 ヘッドセットの使用中は、  や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。
スピーカフォンを使用する	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えるには、  を押します。 ハンドセットが受け台に置かれていて、  が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに応答すると、通常はスピーカフォンモードが自動的に有効になります。
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コール中に(スピーカフォンまたはヘッドセットから)ハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。ボタンを押す必要はありません。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。 このアクションによって、使用されているハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットの音量が調整されます。 [ホゾン] を押して、その後のコールの音量レベルを保存します。

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が 4 本または 6 本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットのご購入については、次の P.8 の「ヘッドセットについて」を参照してください。

自動応答の使用

大量の着信コールを受ける場合、または他人のコールを処理する場合は、自動応答を使用すると便利です。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。次の表に詳細を示します。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>コール中でない場合でも、ヘッドセット モードをアクティブ（つまり  が点灯した状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセット モードをアクティブにしておくには、次の操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [シュウリョウ] を押して切断します。 • [ハッシン] または [ダイアル] を押して、新しいコールを発信します。 <p>電話機がヘッドセット モードで自動応答を使用するように設定されている場合、コールは  が点灯しているときにのみ自動的に応答されます。条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを非アクティブ（ が消灯）にしておきます。</p> <p>条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。</p>

電話設定の使用

呼出音、背景イメージ、その他の設定を調整して、Cisco Unified IP Phone を個人設定できます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールや新しいボイス メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量も調整できます。

目的	必要な操作または状態の説明
回線ごとに呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [ヨビダシオンタイプ] を選択します。2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。3. 呼出音を選択して、サンプルを再生します。4. [センタク] OK の順で押して呼出音を設定するか、[キャンセル] を押して操作を取り消します。
回線ごとに呼出音のパターン(点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど)を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.57 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. コール呼出音パターン設定にアクセスします (P.65 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) ユーザがこの設定にアクセスする前に、システム管理者がこの設定を有効にしておく必要があります。</p>
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、  を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.57 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. メッセージ インジケータ設定にアクセスします (P.65 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p>

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性は調整できます。

目的	必要な操作または状態の説明
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.57 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. ユーザ設定にアクセスします (P.65 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。
回線のテキストラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.57 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. 回線ラベルの設定にアクセスします (P.65 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。
Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールのコントラストを調節する(適用可能な場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [コントラスト] を選択します。 2. 調整するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。 3. [ホゾン] を押して保存するか、[キャンセル] を押して取り消します。

履歴およびディレクトリの使用

この項では、履歴とディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリ ボタン  を使用します。

履歴の使用

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が記録されています。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴を表示する	 > [フザイリレキ]、[ハッシンリレキ]、または [チャクシンリレキ] を選択します。各履歴には、最大 32 レコードを保存できます。簡略に編集したリストを表示するには、リストを強調表示して [ヘンシュウ] を押します。
履歴を削除する	 を押してから [クリア] を押します。この操作により、すべての履歴のすべてのレコードが消去されます。
履歴からダイヤルする(別のコールに接続されていない場合)	<ol style="list-style-type: none">1.  > [フザイリレキ]、[ハッシンリレキ]、または [チャクシンリレキ] を選択します。2. リストを選択するか、リストまでスクロールします。3. 番号を編集する必要がある場合は、[ヘンシュウ] を押してから、<<または>> を押します。電話番号を削除するには、[ヘンシュウ] を押してから、[サクジョ] を押します(必要に応じて、[サクジョ] を表示するために [ツギへ] ソフトキーを押します)。4. オフフックにしてコールを発信します。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴からダイヤルする(別のコールに接続されている場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [フザイリレキ] [ハッシンリレキ] または [チャクシンリレキ] を選択します。 2. リスト項目を選択するか、リストまでスクロールします。 3. 番号を編集する必要がある場合は、[ヘンシュウ] を押してから、<< または >> を押します。電話番号を削除するには、[ヘンシュウ] を押してから、[サクジョ] を押します(必要に応じて、[サクジョ] を表示するために [ツギへ] ソフトキーを押します)。 4. [ダイヤル] を押します。 5. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ホリユウ]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。 • [テンソウ]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールは終了します(ダイヤルした後に[テンソウ]をもう一度押して操作を完了します)。 • [カイギ]: 自分を含め、すべての通話相手との間で会議コールを作成します(ダイヤルした後に[カイギ]をもう一度押して操作を完了します)。 • [シュウリョウ]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。

ディレクトリからのダイヤル

設定に応じて、電話機は、社内ディレクトリ機能および個人ディレクトリ機能を提供します。

- 社内ディレクトリ：電話機でアクセスできる企業内の連絡先です。社内ディレクトリは、システム管理者によって設定、管理されます。
- 個人ディレクトリ：用意されている場合、個人が設定できる個人の連絡先とそれに対応する短縮ダイヤルコードです。電話機やユーザ オプション Web ページからアクセスできます。個人ディレクトリは、個人アドレス帳（PAB）とファーストダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファーストダイヤルでは、PAB エントリにコードを割り当てて、すばやくダイヤルすることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリからダイヤルする(別のコールに接続されていない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [シャナイディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して、名前のすべてまたは一部を入力して、[ケンサク] を押します。 3. ダイヤルするには、リストを押すか、リストまでスクロールしてオフフックにします。
社内ディレクトリからダイヤルする(別のコールに接続されている場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [シャナイディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して名前の一部または全部を入力し、[ケンサク] を押します。 3. リストをスクロールして選択し、[ダイヤル] を押します。 4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ホリユウ]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。 • [テンソウ]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールは終了します (ダイヤルした後に[テンソウ]をもう一度押して操作を完了します)。 • [カイギ]: 自分を含め、すべての通話相手との間で会議コールを作成します (ダイヤルした後に[カイギ]をもう一度押して操作を完了します)。 • [シュウリョウ]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。

ヒント

電話スクリーンでの文字入力には、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

電話機での個人ディレクトリの使用

個人ディレクトリ機能は、個人アドレス帳（PAB）とファースト ダイヤルで構成されます。この項では、自分の電話機のパーソナルディレクトリを設定および使用方法について説明します。または、P.58の「Webでのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
パーソナルディレクトリへのアクセス（PAB およびファーストダイヤルコード）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [パーソナルディレクトリ]を選択します（名前は異なる場合があります）。2. Cisco Unified CallManager ユーザ ID および PIN を入力して、[ソウシン]を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. パーソナルディレクトリにアクセスして、[コジンアドレスチョウ]を選択します。2. 検索条件を入力して、[ソウシン]を押します。3. [マエヘ]または[ツギヘ]を選択して、リスト内を移動できます。4. 必要な PAB リストを強調表示して、[センタク]を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. リストを検索します2. リストを強調表示して、[センタク]を押します。3. [ダイヤル]を押します。（必要に応じて、[ダイヤル]を表示するために[ツギヘ]ソフトキーを押します）。4. 参加者の電話番号を入力します。5. ダイヤルする番号を強調表示して、[OK]を押します。6. [OK]をもう一度押して番号をダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. リストを検索します2. リストを強調表示して、[センタク]を押します。3. [サクジョ]を押します。4. [OK]を選択して削除を確認します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. リストを検索します2. リストを強調表示し、[ヘンシュウ]を押して、名前またはメールアドレスを変更します。3. 必要に応じて、[デンワ]を選択して、電話番号を変更します。4. [コウシン]を押します。

目的	必要な操作または状態の説明
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナル ディレクトリにアクセスして、[コジンアドレスチョウ] を選択します。 2. [ソウシン] を選択して、[ケンサク] ページにアクセスします（最初に検索情報を入力する必要はありません）。 3. [シンキ] を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前および電子メール情報を入力します。 5. [デンワ] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセス コード（9 または 1 など）を必ず含めます。 6. [ソウシン] を選択して、データベースにエントリを追加します。
ファースト ダイヤル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストを強調表示して、[センタク] を押します。 3. [ファーストダイヤル] を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示して、[センタク] を押します。 5. 番号に割り当てるファースト ダイヤル コードを強調表示して、[センタク] を押します。
新規ファースト ダイヤル コードを追加する（PAB エントリを使用しない場合）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [コジンファーストダイヤル] を選択します。 2. [ファーストダイヤル] を押します。 3. 割り当てられていないファースト ダイヤル コードを強調表示して、[センタク] を押します。 4. [ワリアテ] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [コウシン] を押します。
ファースト ダイヤル コードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [コジンファーストダイヤル] を選択します。 2. [マエヘ] または [ツギヘ] を選択して、リスト内を移動できます。 3. 必要なリストを強調表示して、[センタク] を押します。
ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤル コードを検索します。 2. 必要なリストを強調表示して、[センタク] を押します。 3. [ダイヤル] を押します。 4. [OK] を選択して操作を完了します。

目的	必要な操作または状態の説明
ファースト ダイアル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアル コードを検索します。 2. 必要なリストを強調表示して、[センタク] を押します。 3. [サクジョ] を押します。
パーソナル ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナル ディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- 一定の時間が経過すると、パーソナル ディレクトリから自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話スクリーンでの文字入力には、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を使用します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されません。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	 を押し、音声の指示に従います。電話スクリーンにポップアップメッセージ メニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。
新しいボイス メッセージの着信を確認する	次を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • ハンドセットの赤いランプの点灯(このインジケータは異なる場合があります。P.46 の「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください)。 • メッセージ受信アイコン  および電話スクリーンのテキストメッセージ。
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージ メニューにアクセスする	 を押します。 このボタンを押すと、ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、または電話スクリーンにメニューが表示されます。この動作は、お使いのサービスによって異なります。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[ソクテンソウ] を押します。 コール (呼び出し中や保留中のものも含む) がボイス メッセージ システムに自動転送されます。発信者はボイス メッセージの内容を聞いて、メッセージを残すことができます。

Web での電話機のカスタマイズ

Cisco Unified IP Phone は、パーソナル コンピュータなど、社内の他のネットワーク デバイスと情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して、Cisco Unified CallManager ユーザ オプション Web ページにアクセスできます。このページで、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログイン方法と電話機の選択方法について説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインします。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション の URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。 2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 3. セキュリティ設定を受け入れるプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。 <p>Cisco Unified CallManager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページから、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスできます。</p> <p>または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します（次を参照）。</p>
ログイン後にデバイスを 選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 <p>[デバイス設定] ページが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 複数のデバイスが割り当てられている場合は、該当するデバイス（電話機のモデルまたはエクステンション モビリティ プロファイル）が選択されていることを確認します。必要に応じて、[名前] ドロップダウンメニューから別のデバイスを選択します。 <p>[デバイス設定] ページから、電話機で使用可能な各種設定オプションすべてにアクセスできます（他のページでは、すべてのオプションにアクセスできない場合があります）。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスします。 - 回線設定、電話サービス設定、および短縮ダイヤルなどの電話機固有のオプションにアクセスするには、ツールバー ボタンを選択します。 <p>別のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。</p>

Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプション Web ページで機能およびサービスを設定する方法について説明します。P.57 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

コンピュータからアクセスできるパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されます。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer



(注) PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からアクセスすることもできます。P.52 の「[電話機での個人ディレクトリの使用](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログイン後の操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. [新規] をクリックします。3. エントリの情報を入力します。4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 検索情報を指定して、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 名前またはニックネームをクリックします。3. 必要に応じてエントリを編集して、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後の操作
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを作成します。P.58 の「Web での個人アドレス帳の使用法」を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 3. [新規追加]をクリックします。 4. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。 5. [検索オプション]域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。 6. [検索結果]域の電話番号をクリックします。 7. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. [新規追加]をクリックします。 3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。 4. 電話番号を入力します。 5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. 検索情報を指定して、[検索]をクリックします。
ファーストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. 編集するファーストダイヤル エントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更します。 5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除]をクリックします。

ヒント

- 最大 500 個のファースト ダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファースト ダイヤル エントリを作成できます。新規のファースト ダイヤル エントリは、ユーザ オプション Web ページに「raw」とラベル表示され、設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期化ツールの使用方法

Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を（適用可能な場合）PAB と同期化することができます。その後 Microsoft Windows アドレス帳のエントリは、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページからアクセスできるようになります。システム管理者は、Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。

Web での短縮ダイヤルの設定

電話機は設定に応じて、次のような複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル機能
- ファースト ダイヤル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、[P.31 の「短縮ダイヤル」](#)を参照してください。

目的	ログイン後の操作
短縮ダイヤル ボタンを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [短縮ダイヤル] をクリックします。 3. 電話機の短縮ダイヤル ボタン (プログラマブル ボタン) の番号とラベルを入力します。 4. [保存] をクリックします。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [短縮ダイヤル] をクリックします。 3. 固定短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。 4. [保存] をクリックします。
ファースト ダイヤルを設定する	<p>P.59 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>電話機からファーストダイヤルを設定することもできます。P.52 の「電話機での個人ディレクトリの使用」を参照してください。</p>

ヒント

短縮ダイヤル ボタンは、回線ボタンとして予約されていない各プログラマブル ボタンに設定できます。この代わりに、固定短縮ダイヤルまたはファースト ダイヤルを使用してください。

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [電話サービス] をクリックします。3. [新規追加] をクリックします。4. ドロップダウン リストからサービスを選択して、[次へ] をクリックします。5. 可能な場合は、サービス ラベルを変更したり、追加のサービス情報を入力したりします（オプション）。6. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [電話サービス] をクリックします。3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none">1. サービスを検索します。2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. サービスを検索します。2. サービス名をクリックします。3. 情報を変更して、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後の操作
サービスをプログラマブル電話ボタンに追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [サービス URL] をクリックします。 <p> (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 4. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベル フィールドを使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。 6. [リセット] をクリックして電話機をリセットします (新しいボタン ラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスにアクセスする	電話機の  を押します。またはサービスをプログラマブル ボタン  に追加している場合は、ボタンを押します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログイン後の操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [ブラウザのパスワード] 域に情報を入力します。3. [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [電話の PIN] 域に情報を入力します。3. [保存] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [ユーザロケール] 域の、[ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択して、[デバイス設定] ページに移動します。2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存] をクリックします。

ヒント

PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードを使用して、コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインします。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイスメッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。



- (注)
- プライマリ電話回線のコール転送を、電話機で直接設定できます。P.26 の「すべてのコールの別の電話番号への転送」を参照してください。
 - 電話機で直接アクセスできる電話機の設定については、P.46 の「電話設定の使用」を参照してください。

目的	ログイン後の操作
回線ごとにコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [着信コールの転送] 域で、各種条件のコール転送設定を選択します。 5. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイスメッセージインジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [メッセージ受信ランプ] 域で、各種設定から選択します。 <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、ハンドセットライトストリップの赤色のライトが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを電話機に示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後の操作
回線ごとに呼出音のパターンを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [呼出音設定] 域で、選択した回線の着信コールを電話機に示す方法を選択します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 電話機がアイドル状態のときに着信コールを受信する場合は、「アイドル」呼出音設定が関係します。電話機がアクティブなときに着信コールを受信する場合は、「連続」呼出音設定が関係します。</p>
電話スクリーンに表示される回線のテキストラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [回線のテキストラベル] 域で、テキストラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>

Cisco WebDialer の使用

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザ内の項目をクリックして、Cisco Unified IP Phone からディレクトリの連絡先にコールを発信できます。この機能は、システム管理者に設定を依頼する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.57 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ディレクトリ] を選択して、同僚を検索します。 3. ダイヤルする番号をクリックします。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い [送信] をクリックします (詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。 5. コールの開始ページが表示される場合は、[ダイヤル] をクリックします (今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか電話を置きます。
別のオンライン社内ディレクトリ (ユーザ オプション ディレクトリではない) で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインして、同僚を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い [送信] をクリックします (詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。 5. コールの開始ページが表示される場合は、[ダイヤル] をクリックします (今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか電話を置きます。

目的	必要な操作または状態の説明
WebDialer からログアウトする	コールの開始またはコールの終了 ページのログアウト アイコンをクリックします。
WebDialer を初期設定、表示、または変更する	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます (ダイヤルする番号をクリックした後)。</p> <p>[初期設定] に戻る場合は、コールの開始またはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先する言語：WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。 • 常設の電話を使う：WebDialer コール発信に使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号 (回線) を指定します。1 本の回線に 1 台の電話機がある場合、該当する電話機および回線は自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機および回線 (またはそのいずれか) を選択します。電話機はホスト名で指定します (電話機にホスト名を表示するには、 > [ネットワークノセッテイ] > [ホストメイ] を選択します)。 • エクステンションモビリティを使用する：選択した場合、エクステンション モビリティ プロファイル (使用可能な場合) に関連付けられた Cisco Unified IP Phone を使用するように、WebDialer にプロンプトが表示されます。 • コールの確認ダイアログを表示しない：選択した場合、WebDialer が コールの開始ページを表示しないようにプロンプト表示されません。このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリで電話番号をクリックした後に、デフォルトで表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されているユーザガイドやその他のマニュアルには、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm からアクセスできます。

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤルボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。 もう1つのオプションとして、Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールを電話機に接続することもできます。	次の説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • P.31 の「短縮ダイヤル」 • <i>Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュール 電話ガイド</i>
秘書と仕事をしている (または自分が秘書である)	次の機能の導入を検討してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CallManager Assistant サービス • 共有回線 	次の説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • P.35 の「共有回線の使用」 • <i>Cisco Unified CallManager Assistant ユーザガイド</i>

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。	P.35の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに回答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、およびコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザ プロファイルを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • P.31の「応用的なコール処理」 • P.35の「共有回線の使用」 • P.42の「Cisco エクステンション モビリティの使用」
頻繁にコールに回答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.45の「自動応答の使用」を参照してください。
ビデオコールを発信する必要がある	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオカメラを使用してビデオコールを発信できます。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified Video Advantage ユーザガイド』および『Cisco Unified Video Advantage クイックスタートガイド』を参照してください。
電話機の短縮ダイヤルボタンに関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機のビジーランプフィールド(BLF)機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.43の「BLFを使用した回線状態の判断」を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.42の「Cisco エクステンション モビリティの使用」を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、Cisco Unified IP Phone のトラブルシューティングに関する情報を記載します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、電話機に関する一般的な問題の解決に役立つ情報について説明します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。 • CMC または認証に必要な FAC を入力してから番号をダイヤルする必要があります。 • 電話機に時間制限が設定されていて、一日の特定の時間帯に一部の機能が使用できなくなっています。
設定ボタンが反応しない	システム管理者が、電話機の  を無効にした可能性があります。
使用するソフトキーが表示されない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ツギへ] を押して、その他のソフトキーを表示する必要があります。 • 回線状態を変更する必要があります (たとえば、オフフックにする、コールを接続するなど)。 • そのソフトキーに対応する機能をサポートするように電話機が設定されていません。
[サンカ] に失敗する	[サンカ] を実行するには、複数のコールを選択する必要があります。アクティブ コールは自動的に選択されるので、それ以外に、少なくとも 1 つのコールが選択されていることを確認してください。また [サンカ] を実行するには、選択されたコールがすべて同じ回線上にある必要があります。必要に応じて、[サンカ] を実行する前にコールを 1 本の回線上に転送してください。

症状	説明
[ワリコミ]に失敗し、速いビジー音が聞こえる	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。
[ワリコミ]を使用して参加したコールが切断される	[ワリコミ]を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。
Cisco CallBack が失敗する	通話相手がコール転送機能を有効にしている可能性があります。

電話管理データの表示

システム管理者からの依頼で、トラブルシューティングのために、電話機の管理データにアクセスする必要が生じることがあります。

目的	必要な操作または状態の説明
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ネットワークノセッテイ]を選択し、表示するネットワーク構成項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス]を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデルジョウホウ]を選択します。
電話のコールと音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス]> [コールノトウケイ]を選択します。

Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。[ヒンシツ]を押して、情報をシステム管理者に送信できます。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声の問題をすぐにレポートする
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択し、理由コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証とライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com で入手可能です。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet* および保証書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-02F0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	



Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 61

B

BLF 43

C

Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer
60

Cisco Unified IP Phone

接続 6

登録 7

~の Web ベースのサービス 56

~のオンライン ヘルプ 14

~の機能の設定 14, 16, 69

~の図 10

~の説明 9

~の高さの調節 7

~のマニュアル 2

ハンドセット受け台の確実な取り付け 7

Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュール 47,
69

Cisco Unified Video Advantage 70

Cisco WebDialer 67

Cisco エクステンション モビリティ 42

C ワリコミ

使用方法 36

「割り込み」も参照

E

EM 42

I

IP 47

M

Malicious Call Identification (MCID) 40

Meet-Me 会議 27, 30

MLPP、使用 41

P

PAB

Web ページからの使用 58

電話機で使用 52

PIN、変更 64

Q

QRT、使用 72

T

- TAPS、使用 7
- Tool for Auto-Registered Phones Support 7

W

- WebDialer 18, 67

あ

アイコン

- 回線の 15
- コールの状態を示す 15
- 暗号化されたコール 39
- 安全、警告 3
- 安全なコール 39

い

- インストール、Cisco Unified IP Phone 6

え

- エクステンション モビリティ 42
 - ログアウト 42
 - ログイン 42

お

- オーディオ、品質 8
- オリカエシ 18
- オンライン ヘルプ、使用 14

音量

- 調節 46
- 音量ボタン、説明 12

か

会議コール

- Meet-Me 27, 30
- 標準 27, 28

回線

- BLF を使用 43
- 切り替え 22
- コール転送 26
- サポートされるコール数 15
- テキストラベル 65
- ~とコール転送 65
- ~とコールの状態 15
- ~のアイコン 15
- ~の説明 15
- ~のボイス メッセージ インジケータの設定 65
- ~の呼出音パターン 65
- 回線ボタン、識別 11

き

キーパッド

- ~の説明 12
- 機能、~のアベイラビリティ 14, 16

機能ボタン

- サービス 12
- 設定 12
- ディレクトリ 12
- ヘルプ 12, 23

- メッセージ 12
- 共有回線
 - ～とリモートで使用中のアイコン 35
 - ～の説明 35
 - プライバシーの使用 37
 - 割り込みの使用 36
- 切り替え、コールの 22

- け
- 警告、安全 3
- 言語（ロケール）設定 64

- こ
- コール
 - 安全な 39
 - 応答 20
 - 回線との違い 15
 - 終了 21
 - 選択 15
 - ～での [参加] の使用 28
 - 転送 24, 26, 65
 - ～のアイコン 15
 - ～の会議機能 27
 - ～の複数の通話相手 27
 - ～の問題のレポート 72
 - パーク 38
 - 発信 17, 18
 - 表示 23
 - 複数、切り替え 22
 - 複数の処理 22
 - 保存と取得 38
 - 保留と復帰 21
 - ミュート 22
 - 優先順位付け 41
 - 呼び出し中のリダイレクト 20
 - 割り込み 35
 - 割り込みの防止 37
 - 表示 13
 - コール アクティビティ領域、表示 13
 - コール ウェイティング 20
 - コール パーク 38
 - コール処理、応用的な 31
 - コール処理、基本的な 17
 - コール転送
 - Web ページからの設定 65
 - 電話機で設定 26
 - コールの概要モード 23
 - コールへの応答 20
 - 個人アドレス帳、PAB を参照
 - 固定短縮ダイヤル機能 61

- さ
- サービス、～への登録 62
- サービス ボタン、説明 12
- 参加、使用 28

- し
- 自動応答 45
- 社内ディレクトリ
 - Web ページからの使用 67
 - 電話機で使用 50
 - ～の Web ページからダイヤル 18
 - 終了、コールの、～のオプション 21

す		
ステータス データ、～へのアクセス	71	
ステータス行、表示	13	
スピーカフォン		
音量	46	
～で応答	20	
ボタン、識別	12	
モード、使用	44	
～を使用してダイヤル	17	
～を使用中に切断	21	
せ		
切断、～のオプション	21	
設定		
使用方法	46	
設定ボタン、説明	12	
選択、コールの	15	
そ		
ソフトキー ボタン		
～の説明	12, 13	
～のラベル	13	
た		
ダイヤル、～のオプション	17, 18	
短縮ダイヤル		
使用方法	18	
設定	61	
ボタン、識別	11	
ボタン、設定	31	
		ラベル 61
ち		
着信履歴、～のレコード	48	
て		
ディレクトリ		
Web ページからの使用	67	
社内	50	
電話機で使用	48, 50	
～の Web ページからダイヤル	18	
パーソナル	50	
パードナル	52	
ディレクトリ ボタン、説明	12	
テキスト、電話機への入力	14	
デバイス設定ページ	57	
転送、コールの、～のオプション	26	
転送、～のオプション	24	
電話回線		
～の説明	15	
～のボタン	11	
電話サービス		
設定		
ユーザ オプション Web ページも参照		
電話スクリーン		
クリーニング	13	
～の言語の変更	47	
～のコントラストの調節	47	
と		
登録、電話サービスの	62	

- トラブルシューティング、～用のデータ 71

- な
- ナビゲーション ボタン、説明 12

- に
- 認証されたコール 39

- ね
- ネットワーク構成データ、～へのアクセス 71

- は
- パーソナル ディレクトリ
 - Web ページからの使用 58
 - 電話機で使用 52
- パスワード、変更 64
- 発信、コールの、～のオプション 17, 18
- 発信者 ID 13
- 発信履歴、～のレコード 48
- ハンドセット
 - 受け台への確実な取り付け 7
 - 音量 46
 - 使用方法 44
 - ライトストリップ 11

- ひ
- ビジー ランプ フィールド 43

- ふ
- ファースト ダイヤル
 - Web ページからの設定 59
 - 電話機で使用 52
- 複数のコール、処理 22
- 不在履歴、～のレコード 48
- 不審なコール、トレース 40
- 復帰、使用 21
- フットスタンド
 - 調節 7
 - ボタン、識別 11
- プライバシー
 - 使用方法 37
 - ～と共有回線 35
- プログラマブル ボタン
 - ～の説明 11
 - ～のラベル 13

- へ
- ヘッドセット
 - 音量 46
 - ～で応答 20
 - ボタン、識別 12
 - モード、使用 44
 - ～を使用してダイヤル 17
 - ～を使用中に切断 21
- ヘッドセットのパフォーマンス、全般 8
- ヘルプ、使用 14
- ヘルプ ボタン 23
- ヘルプ ボタン、説明 12, 23

ほ

- ボイス メッセージ インジケータ
 - ～ の設定の変更 65
- ボイス メッセージ インジケータ、識別 55
- ボイス メッセージ サービス、使用 55
- 保留
 - 使用方法 21
 - ～ とコールの切り替え 22
 - ～ と転送 24

ま

- マニュアル、参照 2

み

- ミュート、使用 22
- ミュート ボタン、説明 12

め

- メッセージ
 - ～ のインジケータ 55
 - ～ を聞く 55
- メッセージ ボタン、説明 12

ゆ

- ユーザ オプション Web ページ
 - 機能およびサービスの設定 58
 - 電話サービスへの登録 62
 - ～ へのアクセス 56
- 優先順位付け、コールの 41

よ

- 呼出音
 - 音量 46
 - ～ のインジケータ 11
- 呼出音パターン、変更 65

り

- リダイヤル 17
- リモートで使用中のアイコン、共有回線の履歴 35
 - 削除 48
 - 表示とダイヤル 48

わ

- 割り込み
 - 使用方法 36
 - ～ と共有回線 35
 - ～ とプライバシー 37

回線

- 表示 13
- 短縮ダイヤル
 - ラベル 13
- 電話スクリーン
 - ～ の機能 13
- 電話回線
 - 表示 13
- 内線番号、表示 13

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers のロゴ、Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルおよび Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0601R)

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501